

PEACE GOURD



9条の会・養老
会報、第33号
2022年1月20日
(部内資料)

”ピース・ガード” 「平和の瓢箪」

岸田首相が憲法改訂に前のめりになっています。更に歴代政府が憲法違反としてきた「敵基地攻撃能力の保有」の検討をアメリカに約束し、「戦争できる国」への道を急いでいます。これに対抗して12月12日に「全国首長九条の会」が自治体首長をはじめ国民の皆さんに向けてアピールを出しました。概略を抜粋して紹介します。

岸田政権が進める9条改憲を許さないために 「全国首長九条の会」総会アピール

10月31日の総選挙の結果、自公や維新など改憲勢力は衆議院の3分の2を超える議席を獲得し憲法9条をめぐるたたかいが、新たな段階に入りました。

岸田首相は、総選挙で「日本国憲法の改正を目指す」を掲げ、従来の「自民党憲法改正推進本部」から「自民党憲法改正実現本部」へ名称を変更し、安倍晋三元首相を最高顧問にすえました。党内基盤が盤石とはいえない岸田政権が、安倍元首相や高市早苗政調会長など、改憲タカ派の支持を引き続き得るために、憲法を人身御供に差し出したものです。それに呼応して、日本維新の会が次回参院選で改憲国民投票の同時実施を主張し、国民民主党も憲法審査会開催に同調するなど、改憲問題はアベ・スガ政権以上の危険な事態に直面しています。

一方で立憲野党が小選挙区での候補者一本化に努め、市民連合が提起した「野党共通政策の提言」を立憲野党の共通政策として確認したことは、国民の期待に応えるものでした。私たちも、「憲法に基づく政治の回復」が掲げられた共通政策の実現に、大きな期待を寄せていました。小選挙区で一本化候補の勝利が59議席に上り、当選した自民党候補との得票差10%以内の接戦区は33あったという事実は「市民と野党の共闘」が政治転換につながる道であるとはっきり示しています。

いま、改憲をめぐる当面の重要な争点は、第一に、憲法審査会での改憲発議を阻止することであり、第二は、夏の参議院選挙で改憲勢力3分の2を食い止めることです。

だからこそ政権側はマスコミを動員しながら、今度の参院選挙に向けて立憲野党の共闘こわしに必死になっているのです。私たちはさまざまな攻撃にたじろぐことなく、手を携え大道を歩いていこうではありませんか。



海津市南濃町志津

♪ ♪ 戦後は続くよ どこまでも ♪ ♪

二日続いた雨が上がり、暖かい日となりました。

参加者九人。高木正一先生の案内でウォーキング開始。

大垣は六回の空襲を受け、市街地は焼け、多くの市民が死傷しました。アメリカ軍は原爆投下を成功させるため、日本各地でほぼ同型の爆弾で投下訓練を行ったそうです。第4回目の大垣空襲がそれで、高砂町水門川の左岸に落下。ここでも大きな被害が出ています。投下跡は今では公衆トイレとなり、横に戦死者名の刻まれた碑がひっそりと建っています。その時生き残ったトネリコの木は、保健センターに移植され、今も生きています。

第六回目の空襲では焼夷弾21000発が落とされ、市中心部のほとんどが焼失し、大垣城も焼けてしまいました。そんな中、大垣藩ゆかりの圓通寺の山門は奇跡的に助かり、参道も残っています。立派な山門は一見の価値があります。隣りの興文小学校も焼けましたが、息を吹き返したクスの木が緑の葉を茂らせ、校庭で遊ぶ子供たちと共に、未来への希望に思えました。

俵町の「つちや」は戦前の建物が残っていて、右から横書きの字と柿や竹筒の木彫りの看板が懐かしい。ここは昔からの細い道が残っており、少し向こうからは焼け野原となったため、広い道に変わっています。

大運寺には大きなセメントの鐘が鎮座しています。お国のためにと、ありとあらゆる金属が集められたんですね。幼い頃、祖母の指輪まで供出したと聞きました。私も世が世なら、立派な軍国夫人になったことでしょう。戦前からの建物が残る、今の守谷多々志美術館、砲弾型の橋の欄干を見て終了。

高木先生は、聞き取りされたたくさんのお話をして下さり、当時の様子が目に浮かびました。空襲を語り継ぐ活動をボランティアでされている高木先生、貴重なお話をありがとうございました。企画して下さいました9条の会の方々ありがとうございました。久々のウォーキングは楽しく、良い運動になりました。

大垣空襲の経過

- 第1回空襲
昭和20年3月3日
- 第2回空襲
昭和20年6月26日
養老象鼻山はこの時
- 第3回空襲
昭和20年7月13日
- 第4回空襲
昭和20年7月24日
- 第5回空襲
昭和20年7月28日
- 第6回空襲
昭和20年7月29日



圓通寺山門



「つちや」前

会員 星野 幸子



高木先生（中央右でパネル持つ）を囲んで

辺野古新基地建設は私たちの問題では？

報告：佐竹 哲（世話人）

今、沖縄は新型コロナウイルス・オミクロン株の感染拡大が深刻になっています。この感染拡大の発端は米軍基地の兵士の感染であります。背景には米軍に特権を保障している日米地位協定によって、米軍関係者が検疫を免除されている実態があります。感染した米兵がマスクせずに沖縄の市街地を歩く様子も報告され、沖縄の人たちの憤りが想像されます。

それから、忘れてはならないのは辺野古新基地の問題です。昨年、沖縄県玉城デニー知事は、沖縄防衛局(国)が提出していた埋め立て変更承認申請を不承認としました。防衛省は2015年4～9月の段階で、海底調査に当たった業者から「軟弱地盤が広く分布する可能性がある」との報告を受けていました。3年余の間、この報告を沖縄県にも伝えず、県民の反対を顧みないまま、埋め立てに踏み切っていたこととなります。不都合な情報は隠し、基地建造を既成事実化したのです。広範囲の軟弱地盤の中でも、滑走路の端に近い「B27」地点は軟らかい地層が深くまで達しているとのこと。市民団体は海面下90メートルに及ぶと分析、土砂投入の前から警鐘を鳴らしていました。90メートルの深さまで杭(くい)を打ち込む工事には類例がなく、仮に「完成」しても、地盤が不均一に沈み、何度も再整備を余儀なくされると指摘されています。

◆辺野古移設を巡る経過

1996(平成8)年4月	日米が米軍普天間基地を返還で合意
1999(平成11)年12月	移設先を名護市辺野古に閣議決定
2004(平成16)年8月	普天間離陸の米軍ヘリコプターが沖縄国際大学に墜落
2013(平成25)年12月	仲井真元知事が辺野古沿岸部の埋め立てを承認
2015(平成27)年10月	故翁長前知事が埋め立て承認取り消し。後に国との法廷闘争で沖縄県敗訴。
2017(平成29)年4月	国が埋め立て予定海域を囲む護岸工事に着手
12月	普天間所属ヘリの窓が普天間第二小学校の運動場に落下
2018(平成30)年8月	沖縄県が埋め立て承認撤回
9月	玉城デニー氏が知事初当選
12月	国が辺野古沿岸部で土砂投入を開始
2019(平成31)年2月	県民投票で埋め立て反対が7割超
2020(令和2)年4月	埋め立て予定海域の軟弱地盤改良工事のため、国が県に設計変更を申請
2021(令和3)年11月	沖縄県が設計変更を不承認
12月	防衛局が国土交通相に審査請求

現在、国は不服審査請求を国土交通相に申し立てをしていますが、最終的には法廷闘争になる可能性が高いようです。このような国の強引な姿勢は民主主義を脅かす私たちの問題ではないでしょうか。そして、私たちの無関心が、沖縄の苦しみを倍加させるのです。



埋め立て工事が進む辺野古
2018/2/22 撮影

◇今後の活動予定と各団体のイベント予定◇

★大垣警察市民監視違憲訴訟裁判

判決予定

日時：2月21日（月）14時半集合、15時開廷～
場所：岐阜地裁 301号法廷

★9条の会・養老 第7回総会（創立6周年）

日時：2月26日（土）午後1時半より
場所：養老中央公民館 第4会議室
主催：9条の会・養老

→チラシあり

「憲法改悪を許さない全国署名」にご協力をお願いします

昨年の総選挙の結果を受けて、憲法改悪への動きが新たな危険な領域に入ってきました。参院選での改憲議席の3分の2だけは何としても阻みたいと思います。

そこで世話人会では添付の署名を集めることにしました。2015年の安保法制反対運動を担った団体が新たに提起しました。とりあえず5月3日の憲法記念日を最初の集約の節とします。世話人宅まで持ってきていただくか、又は電話を下されば世話人が頂きに上がります。



表紙写真の東海環状道の送り出し工法による架橋工事を東（津屋川）側から見る

編集後記

前回32号の時から約2ヶ月、感染確認数が一気に増勢に転じ、再び油断を許さない状況になってきました。けじめをつけるためにも第7回総会の計画をしましたが、状況次第で延期もありうることをご承知おき下さい。

さて年末年始は降雪の中での年越しとなりましたが、12月は太平洋戦争開戦に関連する番組が幾つかありました。その中でNHKの「倫敦の山本五十六」を観て、少しなるほどと思ったのは「陸軍の満州事変に相当するのが、海軍にとってはロンドン条約見直し会議ではなかったのか」という件です。あの時が、後戻りできなくなった回帰不能点だったのではないかと。妥結せずに帰国した山本五十六が英雄として迎えられ国民が熱狂する状況は、一昨年学術会議会員への任命を官邸に拒否された、加藤陽子東大教授の著作「それでも国民は戦争を望んだ」のテーマに通じるものを感じた次第です。

世話人 問山尚義

内閣総理大臣 橋
衆議院議長 菅
参議院議長 野

憲法改悪を許さない全国署名

行き詰まって相次いで政権を投げ出した安倍・菅政権をひきついで内閣文書政権は、2021年の総選挙で改憲発議に必要な3分の2の議席を手に入れました。岸田首相は中道右派を念頭に憲法の「戦時権攻撃能力の保有」とをえん、歴代政権がみろうして維持してきた消費税率の2%以内の原則をも放棄して2%以上を主張するなど、本國をはじめ欧米諸国との軍事同盟を強化し、「戦争する国」づくりを進め、アジアの覇権を高めています。しかし、この道の障害になるのが憲法9条など、日本国憲法の理念です。改憲派は次の参議院選挙をにらみながら、9条に自衛隊を書き込むこと、緊急事態条項を創設することなどを内容とする自民党改憲4項目案をベースにして、国会の憲法審査会での改憲づくりを急ごうとしています。

私たちは国会が改憲の発議をすることを許さず、すべての戦争に反対し、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生向上などを実現する政治を求めます。

【請願事項】

1. 自民党が提唱する憲法9条に自衛隊を書き込むことなどの改憲4項目に反対します。
2. 憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生などの向上を実現する政治を求めます。

氏名	住所

※印字された名前は国会開議と参院への請願行為には利用しません。

9条改憲NO! 全国市民アクション
ホームページ: <http://9kaiennoc.com> メールアドレス: info@9kaiennoc.com

- 連絡先
- ・戦争をさせない1000人委員会 (03-3526-2920)
〒101-0062 東京都千代田区神田区西3-2-11 議会会館内
 - ・憲法9条を守る会 東京支部 (03-3221-4668)
〒101-0061 東京都千代田区神田区三軒3-3-3 太陽ビル402市民ネット内
 - ・戦争する国づくりストップ! 憲法を守り、平和を実現しよう (03-5642-5611)
〒101-0062 東京都千代田区本町2-4-4 公益財団法人
 - ・九条の会 (03-3221-5075)
〒101-0065 東京都千代田区西船場2-5-303

取り扱い団体 9条の会・養老 A9A・YORO 連絡先 090-9183-0444 (中野)

連絡先

「9条の会・養老」世話人

090-9183-0444 中野一美（代表）

090-9894-0444 佐竹 哲

090-2348-0719 問山尚義

090-8733-0090 禿 憲正

fax (問山)

0584-71-8746

E-mail (問山)

toiyama@ninus.ocn.ne.jp